

新しい授業づくりの文化を創る

令和4年4月「能力ベースの授業づくり実践講座」

第1号

これからの時代を生きる子供たちのために！
能力ベースの授業づくりを ともに学ぼう！！



4月25日から遂に始動！
熱い議論が交わされました！

どんな授業をつくればいいの！？

学習指導要領全面実施から、小学校で3年目、中学校で2年目となりました。「教師主導から学習者中心へ」と言うものの…

どのような授業を創ればいいのでしょうか？
自分自身の授業はどうですか？

そこで…

今年度から
能力ベースの授業づくり実践講座を開設！！

目的① 未知の問題場面に出会っても、解決に向けて行動できる汎用的な力(資質・能力)を子供たちに育むため、学習指導要領に基づいた能力ベースの授業づくりについて実践をとおして主体的に学ぶこと。

目的② 教師同士のネットワークを構築し、講座での学びを吹田市内で広げるとともに、自校でのOJTに生かすことにより、能力ベースの授業づくりの文化を吹田市に築くこと。

以上の2点を達成するために、模擬授業を含む教材研究会と、公開授業や焦点化されたリフレクションを行う授業研究会を5セット実施します。

能力ベースの授業って？

齋藤先生ご自身が授業をしておられる動画(小学校6年生「算数」)を見て、今までの授業と何が違うのか、能力ベースの授業とはどういったものなのか、自分の実践を振り返りながら考えました。グループでの話し合いや全体共有の中で、子供のそれまでの経験をベースに学びを描くことの大切さが分かりました。

- ・「これでいいの？」と先生が何度も聞いていた。その意図はなんだろう？ 教科らしい考え方って?? (Y先生)
- ・思考が見えるように言語化していたのかな…? (S先生)
- ・能力は見えない。価値を明示化するため(いいところ見つけたね)の視点として、対話と可視化が大切。(齋藤先生)



このリーフレットは、子供たちの有能さを引き出すため、なぜ学ぶのかという基本に立ち返り、これからの授業づくりについて追究する中で、子供たちの成長の一助になることを願い、作成しています。吹田の未来を創るために頑張っている、先生方の熱意を発信することが、皆さんの対話の種になれば幸いです。

講師紹介

齋藤 一弥 教授 島根県立大学 人間文化学部 教授

・横浜市教育委員会勤務時代「横浜版学習指導要領」策定。
・文部科学省中央教育審議会教育課程部会算数・数学ワーキンググループ委員、学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者(小学校算数)、小学校におけるカリキュラム・マネジメントの在り方に関する検討会議協力者



能力ベースの授業づくりの視点

- ① Why? 「始発点の確認」
育成すべき能力は何か。なぜ、この単元があるのか。「ベース」とは始発点のこと。学習内容から、どんなことができるか、能力を始発点にして考えることが大切。
- ② What? 「見方・考え方の成長」
見方・考え方とは、教科の本質である。その見方・考え方をいかに働かせるかが重要。例えば国語であれば、言語についての関係性を再構築する営みである。
- ③ How? 「明示的指導の充実」
明示的指導で求められるのは、対話と可視化である。いかに教科らしく付き合わせるか。

ここで示す「能力」は、知識・技能の学びと対立するものではなく、内容の深い理解に支えられていることを忘れてはならない。



新しい授業づくりの文化を創る

学び続ける教師の軌跡

1

この10年の実現すべき教育の姿とは

実践講座 I

個別最適と協働的が意味すること

ポイントは2つ!! 主体的・対話的で深い学びを実現するために!

子供を主語にした能力育成に視点を当てた教育へ
子供の有能さを引き出すための必要な学びへ

↳ 全ての子供の可能性を引き出したい。
では、能力をどのように育てていくのか……。

それを、この実践講座で一緒に考えませんか?
そして、その学びをより豊かにするために、授業実践をしてくださる先生方を紹介します。↓↓↓

これからの授業を
ともに創りたい!
今こそ勇気の1歩を
踏み出すとき!
みんなで一緒に
考える時間を
共有しよう♪

令和4年度 実践講座の授業者

<p>授業者紹介</p>  <p>1 豊津第一小学校 山埜 善昭 先生 (やまの よしあき) YOSHIAKI YAMANO</p>	<p>授業者紹介</p>  <p>2 第二中学校 船橋 壮 先生 (ふなはし そう) SO FUNAHASHI</p>	<p>授業者紹介</p>  <p>3 千里丘北小学校 佐川 弥生 先生 (さかわ やよい) YAYOI SAGAWA</p>
 <p>吹田が誇る5名の挑戦者です。今後の教材研究会と公開授業で、未来社会を生きる子供たちのための授業実践を、ご提案いただきます。</p>	<p>授業者紹介</p>  <p>4 西山田中学校 小林 明日香 先生 (こばやし あすか) ASUKA KOBAYASHI</p>	<p>授業者紹介</p>  <p>5 南山田小学校 渡部 肇 先生 (わたべ はじめ) HAJIME WATABE</p>

<受講者の声>

- ・齊藤先生の授業動画で、先生が何度も「本当にこれでいいの?」と子供に問い直されていたこと、「この数字は何?」と考えさせたいポイントに着目させながら、子供たちから問いが生まれているところなど、勉強になりました。(I先生)
- ・もう1度考え、指導要領を読み直したいと思います。必死で学びたいと思いました。(N先生)
- ・今までに持っていなかった視点がたくさんあり、胸にささるものがありました。(O先生)
- ・グループ協議で、以前よりも自分の中でかみ砕くことができたと感じています。(H先生)
- ・自分がわかっているようで、わかっていたことに気づけたと思います。(S先生)
- ・自分の情報量、知識の少なさに改めて気づくと同時に、多くの学びがある時間となりました。私自身が学び続け、学校、生徒に還元していきたいです。(U先生)
- ・あっという間の研修でした。すべての子供たちのもつ能力を引き出していく、そんな授業ができれば子供たちの未来は変わっていくなと思いました。(I先生)
- ・能力ベースとはどういうことだろうと思っていましたが、今回の講座でイメージができました。はやく授業づくりがしたいと思いました。次回も楽しみにしています。(M先生)



まだ受講登録していない先生も「これから」です。ぜひ自ら学びをつかみ取りにきてください♪



～発行者の徒然なる想い～

目の前の子供たちの可能性を信じて、有能さを引き出す授業ができていますでしょうか。今、子供たちに求められている資質・能力は、我々が今までに受けてきた教育だけでは高めることができません。社会はあっという間に変化し、その速度は早まるばかりです。学びの軌跡、次の1歩をどう踏み出すか、どこに踏み出すのか。ともに学びましょう。

吹田市立教育センター 文責:川添・小林 TEL 06-6388-1455
能力ベースの授業づくり実践講座 令和4年(2022年)5月